

大阪の四季を

深ぼりする

# アルキメトロ

Osaka Metro

2022  
Spring

特集

とりどり大阪

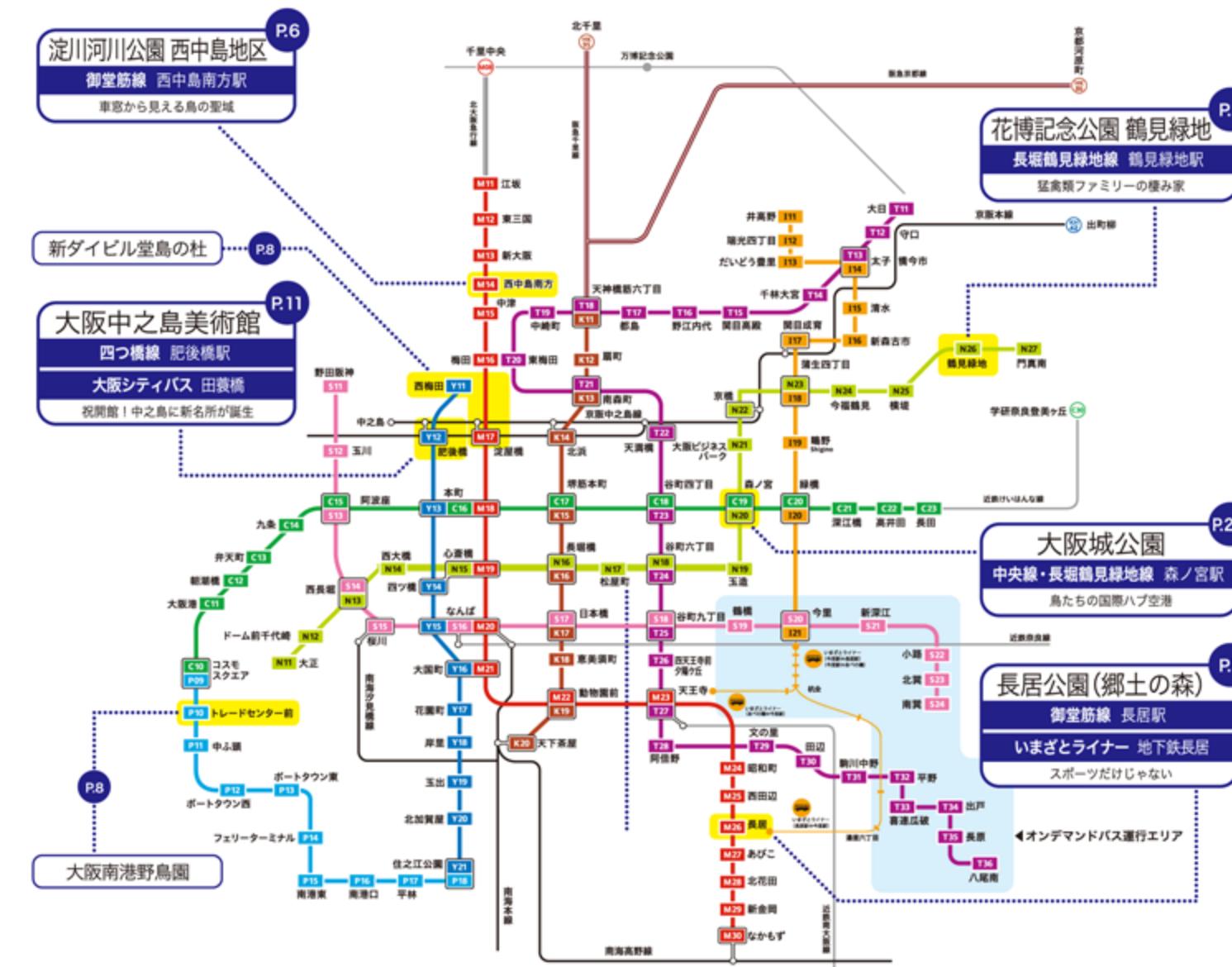
●祝開館！大阪中之島美術館



Osaka Metro

M 千日前線  
Y 四つ橋線  
T 谷町線  
C 中央線  
S 千日前線  
N 長堀鶴見緑地線  
K 堺筋線  
I 今里筋線  
P ニュートラム  
I いまとライナー

Osaka Metro とりどり大阪。



●大阪の四季を深ぼりする「アルキメトロ」編集部の公式SNS(ツイッター、インスタグラム)@arukimetroをぜひご覧ください。



大阪市内から ぶらり堺一周古墳巡り

堺・百舌鳥古墳群世界遺産きっぷ

堺・百舌鳥エリアには歴史ロマンあふれる古墳が点在。世界遺産となったこれらの古墳群をおトクに巡ることができるきっぷです。  
乗車券のご提示で堺市博物館や堺市立公民館・清学院・山口家住宅が無料でご入館いただけるほか、大仙公園日本庭園やさかい利晶の杜等の施設で割引等特典が、さらに付属のクーポンの利用で南海電車なんば駅付近の店舗においても割引特典が受けられます。

発売期間 有効期間  
発売中～2022年3月31日(木)  
Osaka Metro：全線

大阪シティバス：全路線 (IKEA 鶴浜行バス及びユニバーサル・スタジオ・ジャパン TM 行バス、空港バス、オンデマンドバスを除く)  
南海電車：なんば～堺・沙見橋～中百舌鳥  
阪堺電車：我孫子道～浜寺駅前 (堺市内区間)  
南海バス：堺市内ワイドエリア内

発売価格 発売場所  
1,500円(大人のみ)  
Osaka Metro 全駅駅長室、駅構内定期券発売所、案内カウンター (新大阪)、駅構内売店 (ローソン)

\*新型コロナウイルス感染症の影響により休業日や営業時間等が変更になる場合がありますので、おでかけ前に必ず最新情報を各施設・各店舗までご確認ください。  
※掲載内容は2022年2月現在のものです。※価格はすべて税込です。

はるか昔から、  
鳥はこの地が  
大好きでした



「世の中を憂しとやさしと思へども飛び立ちかねつ鳥にしあらねば」  
世の中辛くとも、鳥ではないから飛ぶことはできない、と山上憶良は詠んだ。  
現代でもコロナ禍で辛抱の日は続くが、鳥を愛でて、鳥の声に癒やされることはできる。  
幸いなことに大阪という街は、身近な場所でじつに多種多様な鳥が見られる全国（いや世界）でも  
有数の大都市なのだ。春の報せに地下鉄に乗って、鳥たちに会いに行こう。

# とりどり大阪

大阪市内「鳥見」MAP

178種！成田より関空よりもスゴい

鳥たちの「国際ハブ空港」かも。

取材・文／奥村康治（P2～8）写真・案内／元山裕康（大阪城公園）

## 大阪城公園

[中央区]

愛鳥家ではなく、「トリミニスト（鳥見人）」を自称する元山裕康さんは30年間、2日に1回の割合で大阪城公園の野鳥を観察、記録を続けている。

その間に確認した野鳥は178種。日本で確認されている野鳥は633種だから、その約3割の野鳥が大都市のど真ん中の公園にやってきたということになる。たしかに200種32万本もの花や樹木が「森」を形成している大阪城公園だけのことはあるのだが、理由はきっとそれだけではないよう気がする……。

「野鳥にとっての大阪城公園の魅力」について、元山さんルートインの野鳥観察コースに同行して聞いてみた。

### トリミニストの肉声で知る 大阪城公園鳥マップ





上／メジロ 中／ツグミ 下／ハクセキレイ（日本野鳥の会大阪支部提供）

广さ65・7haを誇る長居公園（その半分は緑地）内の大阪市立自然史博物館。主任学芸員・和田岳さんに「ついで」でも見られる野鳥の楽しみ方を聞いた。

「郷土の森」に行くと、2月ならメジロ、シジュウカラ、ツグミ、アオジ、ジョウビタキ、ハクセキレイなどがいます」

「郷土の森」とは公園の中央部に位置し、全国各地を代表する樹木、約8600本が植樹された場所だが、可愛らしい小鳥たちを「ついで」の人も見つけられる。

「気づき方は声を聞くことなんですね」

「どんな声？ 2月はまだ繁殖期ではないので鳥たちは「地鳴き」をする。案外地味だがそれぞれに特徴がある。鳥の鳴き声の節回しを、それに似た言葉で置き換える「聞きなし」をご紹介します。

メジロ「ちいーちー」  
ツグミ「きいきい」

## 長居公園

[東住吉区]



スボーツイベント一辺倒の  
みなさん、もつたいないです。



シジュウカラ「ちっちっ」または  
「じゅくじゅく」  
アオジ「ちっちっ」  
ジョウビタキ「ひい。ひい。ひい」  
ハクセキレイ「ちちん、ちちん」

こうした鳴き声が聞こえたら、その音の方向を正面に見る。そうすると、声の主の小鳥が見つかることもあるかもしれない。双眼鏡が必要だが、「ついで」だと持ち合わせていない。しかし、鳥の鳴き声に耳を傾けるだけでも案外ワクワクするものだ。少しの時間、別世界へ行くことができる。

さて、「郷土の森」あたりで見られる小鳥たちの生態をひとことで言うと「混群」。イワシが大きな魚から身を守るために群れを作るように「郷土の森」の小鳥たちは、異なる種類で群れを作る。群れると確かに外敵から身を守れるかもしれないが、餌の取り合いにはならないのだろうか。

異なる種類だと餌の好みは微妙に異なる。取り合いは緩和されるのです」

2月の長居公園では昨年度、30数種類の鳥が確認されている。1994年6月～2019年3月の調査では、146種類の鳥が記録されているがまだ抜け落ちている種類はあるという。実は時代が進むにつれて増えてきているのだ。



昭和45年(1970)、まだ木がまばらだった長居公園(長居公園HPより)

多くの鳥が棲めるほど、大阪の街の縁が増えてきていた。だからこそ、「ついで」の鳥見も手軽に楽しんでたと思われます



### 鳥の生態三態

おなじみの鳥も観察するとこんな見どころが。  
●カラス  
「長居ではハシボソ(くちばしが小さくて細い)とハシブト(逆に大きくて太い)が生息していますが、2月はハシボソの方が楽しい。繁殖期に入るボソの方が多いです。枝をくわえて飛んでいくカラスが見られる」

●スズメ  
「スズメを見て、一番可愛いのは砂浴び。砂地にぐちゃーとなつて、尾羽と翼が空きます。羽の手入れ、寄生虫対策のためと考えられています」

●ハト  
「キジバトの日光浴、可愛いなあ。地面にぐちゃーとなつて、尾羽と翼が広げてなり。羽の裏にも光を当てているらしく、片側だけピッと上げているときもある。道端でやっているので、気をつけていたら見られるかも」

Nara Ikaruga 1day ticket  
奈良・斑鳩 1dayチケット  
Osaka Metro沿線から 春の奈良へは 奈良・斑鳩 1dayチケットで!  
Osaka Metro・大阪シティバス沿線から 大人1,850円  
Osaka Metro全線・大阪シティバス全路線(一部路線除く)1日乗り放題 + 近畿電車・奈良交通バスの指定区間 1日乗り放題  
奈良・斑鳩 1dayチケット 検索



黒と黄色の虎柄が名前の由来のトラツグミ。  
トランク上に見ゆる阪神ファンは必見かも!?



出会い。たまに会うから楽しいんです。空振りは空振りでいい。でも、素晴らしい出会いがあると心臓ドキドキでわーっ

一トリミニストとして鳥を見る魅力は？  
「高嶺の花」はお金をかけてヘリコプターでも乗れば、見ることができるけど、野鳥はそうはいかない。お金をかけたら会えるというものではないです。運と努力としも絶滅危惧種というわけではなく、迷いはぐれで飛んでくる。ゆえに数が少ない。行くつもりではなかつた土地で、1羽で生き延びる生命力にも驚かされる。

られないでしょう。ただ毎年少しすつですが、だんだん新しい鳥が増えています」  
2017年の時点で元山さんが確認した鳥は169種。それが昨年11月までの4年間で9種増えた。

一めったに見られない珍しい鳥は、何を思って大阪城へやって来るのでしょうか？  
「たとえばウタツグミ。3回確認できましたが、迷いこんできた鳥で、本来のコースから外れています。渡り鳥は南北に移動するもので、東西に移動するものではありません。ホシムクドリも迷鳥ですが、ヨーロッパでは駆除の対象になるほど多めで、それが迷つて大阪城公園までやって来ると、珍鳥として注目されます」

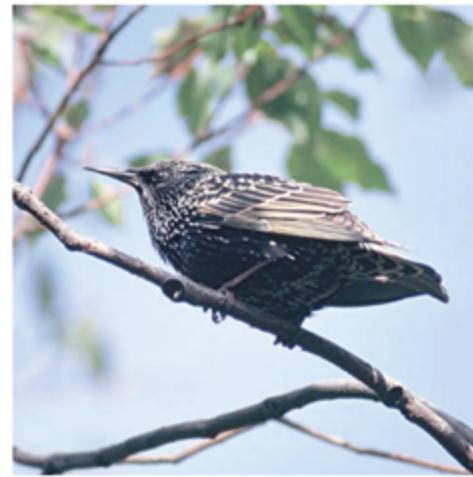
大阪城公園に飛来する珍しい鳥は必ずしも絶滅危惧種というわけではなく、迷いはぐれで飛んでくる。ゆえに数が少ない。行くつもりではなかつた土地で、1羽で生き延びる生命力にも驚かされる。

一私たちのような鳥の初心者にとって、大阪城公園はどんな場所ですか？  
「探鳥というと『山』のイメージがありますが、トイレもないでしょ？ しかも鳥は山ではありません。大阪城公園はトイレもあれば、売店もある。交通の便もものすごく良いでっしゃる？ そのうえ鳥が生息している密度が高い。鳥を見るなら大阪城に来る方が圧倒的に見やすいんですよ」



案内人 元山裕康 (もとやまひろやす)

元々はカーマニアだったのが娘さんと映画を観るまでの時間つぶしに南港の野鳥園に行ったことがきっかけでトリミニストに。車中泊をしながら全国をめぐったこともあるが、大阪城公園が理想の場所だと知ってからは歩き圈内に引っ越して、以来30年の付き合い。すごい健脚。



星状の斑点。ムクドリと異なり日本では珍鳥のホシムクドリ

スマートフォンがそのまま乗車券になる  
モバイルチケット 発売中!  
大阪シティバスではお持ちのスマートフォンがそのまま乗車券になる「モバイルチケット」を発売しており、いつでもどこでもお買い求めいただける便利な乗車券となっております。  
モバイルチケットには、「バス一日乗車券」と「バス回数券」の2種類があり、バス一日乗車券は大人500円、子供100円で大阪シティバスに1日乗り放題のお得なチケットで、ご家族でのお出かけにおすすめです！「バス回数券」は2,000円で大人11回分ご乗車いただけます。※ご利用には専用のアプリのダウンロードが必要です。詳しくは、「バスモバチケ」で検索してください。みなさまのご利用をお待ちしております。

おおさかじょう  
大阪城公園  
中央線・長堀鶴見緑地線・森ノ宮駅  
中央線・長堀鶴見緑地線・森ノ宮駅  
3-A号出口または3-B号出口からそ  
れぞれ徒歩すぐ  
大阪シティバス▶62号系統 大阪城  
大手前停留所からすぐ  
○大阪市中央区大阪城  
☎ 06-6755-4146 (大阪城パーク  
センター)  
※公園に関する問い合わせのみ





～スタンプを歩いて集める～  
**ウォーキングラリー**

「大阪マラソン2022」のオフィシャルスポンサーとして、ウォーキングラリーを通して、日々の運動不足解消にウォーキングを始めたの方や、マラソンには抵抗があるけれどコースを体感したい方など、より多くのお客さまにマラソンを身近に感じていただけるよう実施するものです。ウォーキングを楽しみながら、全6コース完歩を目指してください。

●開催期間  
1月6日(木)～2月25日(金)

●参加費 無料  
(ウォーキングラリーに必要な通信費、交通費はお客様のご負担となります。)

●記念品  
Osaka Metroオリジナルグッズ及び本ウォーキングラリーのオリジナルステッカー  
※数に限りがありますので、ご容赦ください。

## 「アルキメトロ」読者アンケートにご協力ください

今回のアルキメトロはいかがでしたか？  
読者アンケートに答えると抽選で大阪中之島美術館で4月9日(土)より開催の「モディリアーニー愛と創作に捧げた35年」の特別観覧券を10組20名様にプレゼント。



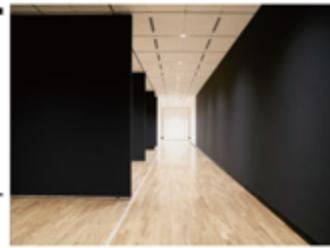
●アンケートフォームはこちら→

表紙のこは…

「大阪と鳥。いにしえからのおつきあい…」



アルキメトロ 2022年春号  
表紙絵・イラスト・デザイン/神谷利男  
編集/株式会社140B  
発行/大阪市高速電気軌道株式会社  
2022年2月11日発行



アメデオ・モディリアーニ「髪をほどいた横たわる裸婦」大正6年(1917)

1884年、イタリア出身。パリに渡り、ピカソや藤田嗣治とともにエコール・ド・パリの一員として活躍。独自の作風を追求しながら、一貫して人物像の制作に没頭。この作品は貧しい芸術家として起死回生をかけて描いたもの。当時は過激な描写と非難され、様々なスキャンダルを引き起こした。

### 大阪中之島美術館 開館記念 Hello! Super Collection 超コレクション展 —99のものがたり—

会期：2022年2月2日(水)～3月21日(月・祝)  
料金：一般 1,500円、高大生 1,000円ほか  
所蔵する佐伯祐三、モディリアーニ、マグリットらの作品など  
約400点を展示。P9で紹介する作品にも出会える。

### 開館記念特別展 モディリアーニ—愛と創作に捧げた35年—

会期：2022年4月9日(土)～7月18日(月・祝)  
料金：一般 1,800円、高大生 1,500円、小中生 500円ほか  
1910年代のパリを舞台に活躍したモディリアーニの傑作を展示。国内外の作品が見られる回顧展は、日本では14年ぶりだ。

上／4階へと繋ぐエスカレーターが交差する2階。中央／関西有数の広さ1700平米を誇る5階展示室。下／4階展示室は、中之島を拠点にした前衛美術集団「具体美術協会」の展示施設をオマージュして黒い壁になっている



## 美術館の「これまで」と「これから」 訪ること 자체が楽しい場所へ

黒い巨大な直方体が宙に浮いているように見えます。その外観が完成した時、何人もの人が「なに？あれ」と言葉を口にしました。なぜ、黒なのか。

周囲はグレーの建物ばかり。黒であると、基本的には都市の中で埋没しない。すなわち黒は埋没しない色なんです。都市の中で埋没しないように、

美術館としての存在をきちんと表現するというのが大切だと考えました」と設計者の遠藤克彦さん。

黒い塗料を単に吹き付けているわけではない。黒い石や砂を含んで打設したコンクリートの表面を

ウータージェットで削っている。その凹凸が無数の影を作り、黒を一層、黒く見せる。夜は闇に溶け込むが、くり抜かれたような四方のガラス窓から内部の光が放たれ、灯台のような存在感がある。

建物は5階建て。2階テラスには芝生広場があり、ヤノベケンジによる猫の作品「シップス・キャット（ミューズ）」が出迎えてくれる。建物への入口は1・2階に複数ある。菅谷館長はこう話す。

「実は正面玄関と呼んでいるところはないんです。1・2階は誰でも通り抜けでできる構造で、4・5階のロビーとあわせてパツサージュと名付けています。パツサージュとは、19世紀のパリで作られた屋根付き商店街のこと。天神橋筋商店街のよう

なものと言った方が分かりやすいかもしません」

レストラン、ショップが並ぶほか、ワークショップなどが開催され、展覧会を見なくとも、それらを楽しむことができる。

「いつもはカフェにお茶を飲みに来て、たまには絵を見てみよう、という使い方をしていただいてもいいと思っています」

賑わいを生み出すという形は従来の美術館には珍しいです。

## モディリアーニを観よう

そして美術館の命でもあるコレクション数は約6000点を誇る。簿価で265億円。このうち1150点を大阪市が購入している。30年前から収集したおかげで「良い作品が買えた」という。例えば、パリ派の代表画家・モディリアーニ（1884～1920）の「髪をほどいた横たわる裸婦」。パブル時代の平成2年（1990）、19億3千万円で購入した。

「当時は高づかみしていると言われましたが、逆です。バブル時代だからこそ、世界中から良い作品が市場に出回りました。同時代のモディリアーニが数年前、オークションに出ましたが、約200億円で落札されました。バブル崩壊で美術品を買わなくなつたのは日本くらい。今、買うとなる

NPOとも協働します。これまで大阪を素通りしていたような大型企画展も誘致できます」かつて中之島には蔵敷が建ち並び、日本全国のヒト・モノ・カネが大阪に集まつた。そんな街の吸引力が新しい美術館でも働くのかもしれない。

おおさかなかのしまびじゅつかん

大阪中之島美術館

四つ橋線●肥後橋駅  
大阪シティバス●田蓑橋

開館記念「超コレクション展—99のものがたり—」では、コレクションから約400点が展示される。モディリアーニの特別展は4月9日から。構想から40年。世界に誇るコレクションの数々は、その価値に見合った美術館の誕生を待つていたのかもしれない。



菅谷館長と巨大猫「シップス・キャット」。大航海時代に船に乗り活躍した「船乗り猫」は、水都・中之島から世界へ情報を発信していく美術館の象徴。中之島の新しいシンボルでもある

あまりない。大阪中之島美術館の特徴の一つだ。作品群はその賑わいの上の階に収められる。黒い壁に囲まれた部分・静の世界だ。そこは外気や水害から作品を守るといった工夫もされている。

もう長蛇の列に並ぶ必要はない。受付を済ませると、吹き抜けを貫き、4階展示室へ直行するエスカレーターに乗る。静の世界へ向かうための約1分の儀式のようであり、短い旅のようでもある。展示室は4・5階に位置。5階展示室は1700平米もの広さになり、大型展覧会も開催できる。

展示室のロビーには大きなガラス窓があり、眺望で目を休めることができる。下を行き交う車はほぼ見えない。堂島川の水面と対岸のビル群が新鮮な装いに見え、新しい美術館に来たことを思い出させてくれる。

この美術館は、約40年前に市制100周年記念事業として構想され、当初は90年代後半に完成している計画だった。しかしバブル崩壊による大阪市の財政悪化で建設が延期。これまでに3度も計画が作り直されている。菅谷館長は平成4年（1992）、準備室に学芸員として着任、30年にわたる糾余曲折を当事者として見つめてきた。

「当初の計画は80年代の美術館に影響を受けていたし、美術館の人材だけで全てを揃えるやり方でした。大阪中之島美術館では大学の研究室や企業、展示室のロビーには大きなガラス窓があり、眺望で目を休めることができる。下を行き交う車はほぼ見えない。堂島川の水面と対岸のビル群が新鮮な装いに見え、新しい美術館に来たことを思い出させてくれる。

この美術館は、約40年前に市制100周年記念事業として構想され、当初は90年代後半に完成している計画だった。しかしバブル崩壊による大阪市の財政悪化で建設が延期。これまでに3度も計画が作り直されている。菅谷館長は平成4年（1992）、準備室に学芸員として着任、30年にわたる糾余曲折を当事者として見つめてきた。

「当初の計画は80年代の美術館に影響を受けていたし、美術館の人材だけで全てを揃えるやり方でした。大阪中之島美術館では大学の研究室や企業、

展示室のロビーには大きなガラス窓があり、眺望で目を休めることができる。下を行き交う車はほぼ見えない。堂島川の水面と対岸のビル群が新鮮な装いに見え、新しい美術館に来たことを思い出させてくれる。